

大雪山の火山活動解説資料（平成26年7月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1 - 、図2）
旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さは火口上200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。
- ・地震及び微動の発生状況（図1 - ）
火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



図1 大雪山 火山活動経過図（2010年4月～2014年7月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成26年8月分）は平成26年9月8日に発表する予定です。



図 2 大雪山 西側から見た旭岳の状況（7月22日、忠別湖東遠望カメラによる）

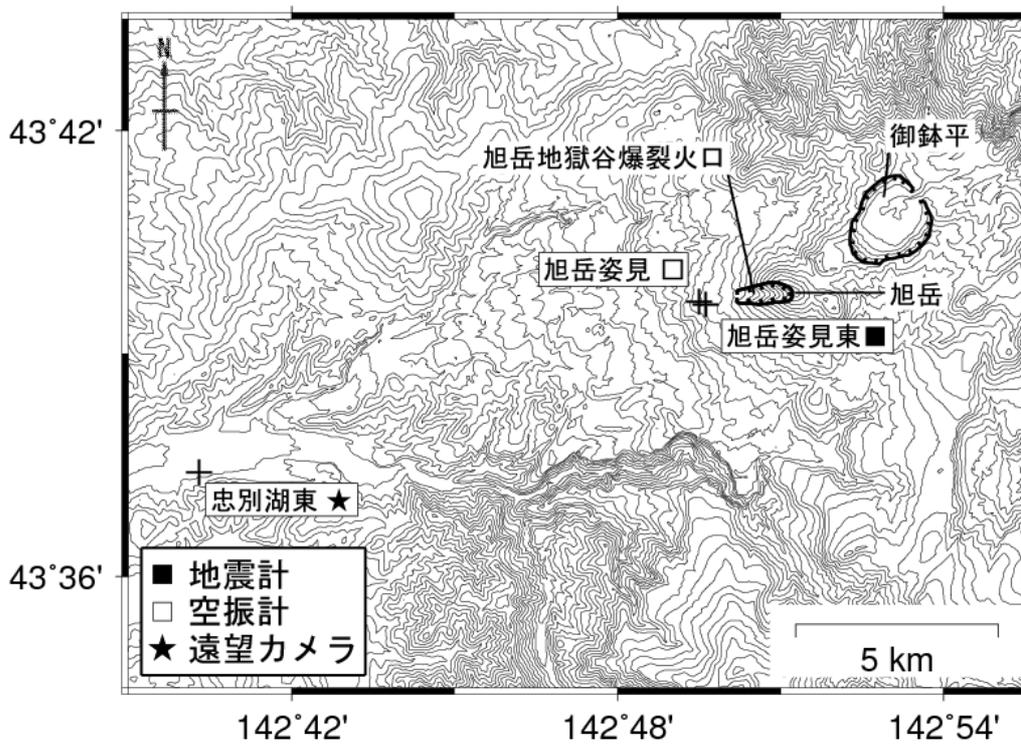


図 3 大雪山 観測点配置図
+ 印は観測点の位置を示します